

コスタリカへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年02月10日（継続／新規発出）

サンホセ州サンホセ市、同州ゴイコエチェア市、同州アラフエリータ市、同州デサンパドス市、リモン州リモン市及びプンタレナス州プンタレナス市	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
リモン州（リモン市除く）及びプンタレナス州（プンタレナス市除く）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（新規発出）

【ポイント】

- コスタリカでは、殺人件数が過去最多を記録した2023年に続き、2024年も僅差で前年に次ぐ殺人件数を記録しており、中南米地域の中でも殺人発生件数上位国になりつつあります。中でも、サンホセ州、リモン州、プンタレナス州では、麻薬組織が絡む殺人事件が増加しているほか、強盗や盗難などの一般犯罪も多発しています。特に、麻薬組織間同士の抗争は、場所や時間を問わず発生しているため、一般人が巻き込まれるケースが散見されます。そのため、滞在中は周囲に気を配り、十分に注意する必要があります。

【概況】

- (1) コスタリカは、国際麻薬犯罪組織によって南米産の麻薬を欧州や北米へ運ぶ際の中継地点として利用されているだけでなく、現在では麻薬の倉庫と化しているほか、消費地にもなっています。コカイン押収量は年々増加の一途をたどっており、2023年には年間合計約13トンのコカインが押収されました。一度に数百キログラム単位の麻薬が押収される事案がたびたび報道されており、麻薬の密輸は増加傾向にあります。また、麻薬組織が関与する犯罪に加え、麻薬の購入代金欲しさに行う短絡的な強盗や殺人等が首都のみならず観光地や地方都市で発生しており、大きな問題となっています。特に、殺人については、麻薬組織同士の抗争や報復のほか、麻薬中毒者の麻薬購入代金踏み倒しが原因のものなどが多く、時間帯や人の目を気にせず発生しているため、偶然通りかかった一般市民が巻き添えになるケースが多発しています。2024年の殺人事件数は880件であり、過去最多を記録した2023年（905件）に次いで過去2番目に多い殺人事件数となっています。このうち、大半の事件に麻薬組織が関与しているとみられている他、約7割の事件で銃器が使用されています。また、マネーロンダリング等の犯罪も摘発されており、同国における麻薬にからむ組織犯罪の増大が、犯罪の凶悪化をもたらしていると考えられています。

テロ・誘拐はどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。詳細は、コスタリカの「テロ・誘拐情勢」をご覧ください

（https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_247.html）。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902、2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。